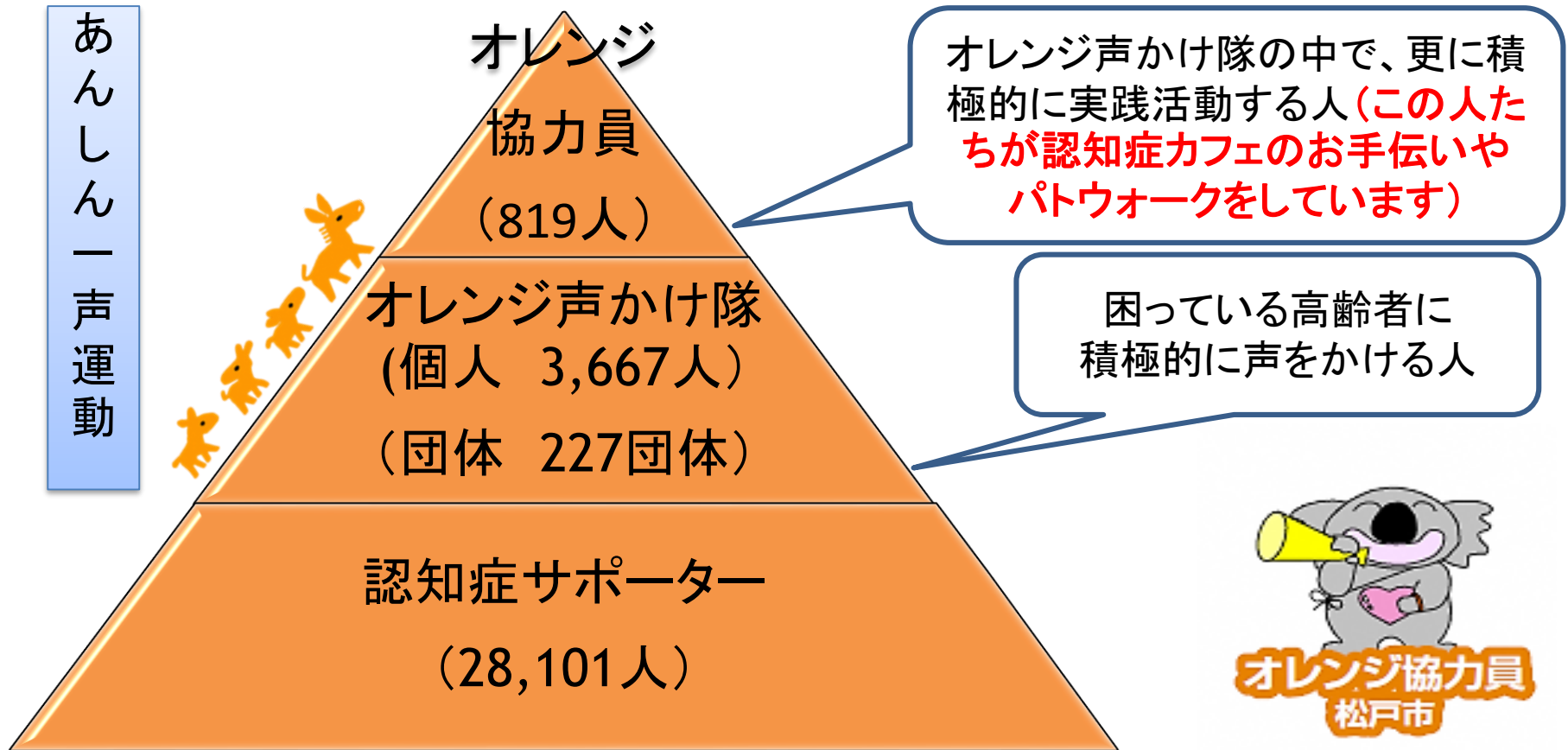


# 松戸市あんしん一声運動

連絡先: 松戸市 高齢者支援課 地域包括ケア推進担当室 047-366-7343

HP: [https://www.city.matsudo.chiba.jp/matsudodeikiiki/mokuteki/ninchisho/ansin\\_hitokoe.html](https://www.city.matsudo.chiba.jp/matsudodeikiiki/mokuteki/ninchisho/ansin_hitokoe.html)

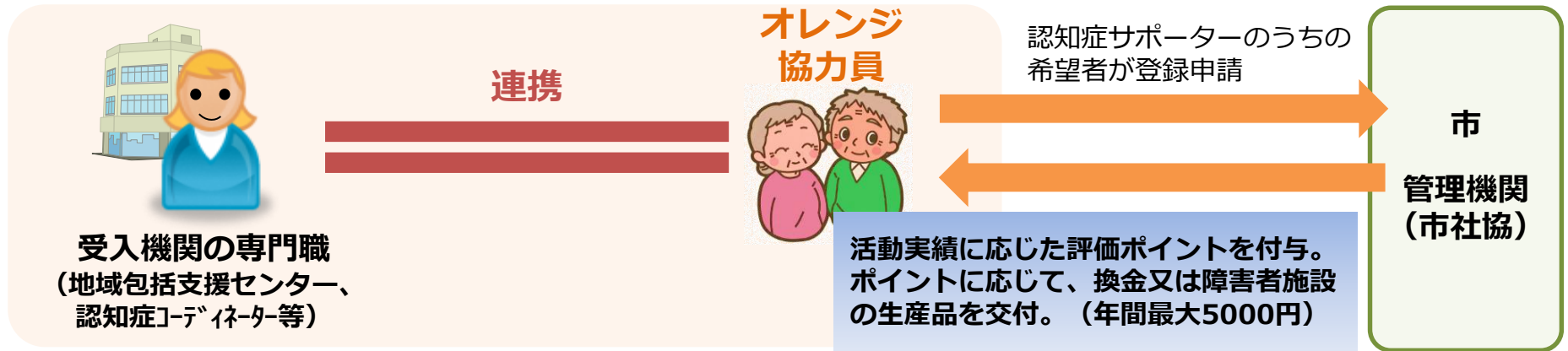
普段の生活の中で手助けが必要な高齢者を見かけた時に、「何かお困りですか?」「お手伝いしましょうか?」と声をかけ、高齢者を地域全体で温かく見守っていくことを目指した運動です。この運動は『オレンジ声かけ隊』が行ないます。さらに、専門職と連携して活動するのが『オレンジ協力員』です。



※(2020年3月末現在)

# オレンジ協力員の取組

- 松戸市独自の取組として、認知症の人と家族を地域で支援していくため、専門職と連携して実践的な支援活動等を行うボランティア「オレンジ協力員」を養成（2020年3月：819人）。
- 2015年度後半より、地域包括支援センター・認知症コーディネーター等と協力した実践的活動を開始している。



※受入機関

- ・市
- ・管理機関（市社協）
- ・地域包括支援センター
- ・指定を受けた以下の機関
  - \* 認知症コーディネーターの会
  - \* 特養
  - \* グループホーム
  - \* 介護保険事業所・施設

支援活動



## 【オレンジ協力員の実践的な支援活動の内容】

- 自宅、施設等での認知症の人・家族の話の傾聴（傾聴ボランティア）
- 認知症の人・家族の相談への対応
- 認知症の人の散歩、買物等への同行
- 認知症の人等の支援に係るレクリエーション等の指導・運営補助
- 認知症予防教室、認知症カフェ、サロン等の運営補助
- 見守り支援・安否確認 等

※ 上記の実践活動のほか、松戸市あんしん一声運動（手助けが必要な認知症高齢者等に一声をかけ、できるだけ手助けを行う活動）にも参加。

# オレンジパトウォークの概要

事業開始:平成29年



オレンジパトウォークはオレンジ協力員（認知症支援に特化したボランティア）などの皆さんと各高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）が連携して地域を見守るパトロールです。平成29年に明第二西地域包括支援センターで取り組みが開始され、その後、五香松飛台,小金地域において実施されてきました。**令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、多くのオレンジ協力員の活動も自粛に追い込まれてしまいました。**

人と人のかかわりが薄れてきている中で、特に高齢者の社会的孤立が問題視されていることから、松戸市ではこの**オレンジパトウォーク**を市内全**15地域**に拡大して、見守りを実施しています。

一方で、定期的に社会に出て活動することは、参加者ご本人にとっても生活不活発化を防ぎ、生活リズムの安定につながります。各地域で決まった曜日、決まった時間に週1回～月1回程度パトロールし、細かい活動内容は**地域ごとの課題に応じて自由に実施**されています。



こちらのビブスを  
着用してパトロールしま  
す



オレンジパトウォーク活動風景

# オレンジパトウォークの基本的な3つの活動内容



※コロナ禍での活動ということもあり、  
体調チェック、検温、消毒をしっかりと実施しています。



## ①周知啓発 (相談窓口・情報・イベント)



配布物は地域包括支援  
センターが自由に  
作っています。

## ②戸別訪問



地域包括支援センターの案内チラシなどを手渡します。これによって体操教室などの参加者が増えているという地域もあります。

一人暮らしの高齢者宅など、  
気になるお宅にお伺いし、  
地域包括支援センター  
専門職がお声かけしてまわります。

## ③認知症の人も 一緒に歩く

認知症の人などが一緒に  
パトロールします。同行する  
専門職によると、歩くことが  
好きな方でご家族の反応も  
良いそうです。



取組の様子がメディアに報じられたこともあり、  
参加したいという声が多く寄せられています。